

こどもの感染症シリーズ⑤

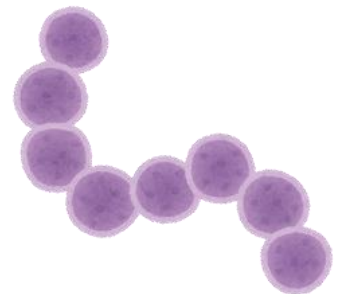
溶連菌（ようれんきん）ってなに？

溶連菌は、連鎖球菌属（丸い菌の2つ以上が、鎖のように一列につながって見えることから、連鎖（レンサ）球菌と呼ばれています）に属しています。その連鎖球菌属は、その性質上、 α 溶血と β 溶血の2種類に分けられ、さらに、また細分化されますが、そのうちの β 溶血のタイプで人に感染症を起こすものは、A群、B群、C群、G群などがあります。

このA群、B群、C群、G群などのうち、A群 β 溶血性連鎖球菌（化膿連鎖球菌ともいう）への感染が溶連菌感染症の90%を占めていて、一般的に、溶連菌感染症といえばA群 β 溶血性連鎖球菌感染症のことをいいます。

毎年、冬と春から初夏にかけての2つのピークがあります。

新型コロナウイルス感染症と同様、5類感染症に分類されます。



症状は？

2～5日の潜伏期間（感染しても症状の出ない期間）の後、突然 38～39℃の高い熱と体のだるさ、のどの痛み、吐き気が出て発症します。そのほかの症状として扁桃腺が腫れる、扁桃腺に白いものがつく、のどちんこの周りに赤く小さな点々、イチゴ舌（舌に赤いブツブツができイチゴのように見えます）が出る場合があります。逆に、咳や鼻水といったかぜをひいた時によくある症状は、あまり見られません。

溶連菌の作り出す毒素（発赤毒）に免疫のない人は、猩紅熱（しょうこうねつ）という特徴的な症状が現れます。発熱してから12～24時間すると小さい発疹が首や脇の下、足の付け根にできて、体中に広がります。顔はほっぺたや額は赤くなりますが、口の周りは白く、口の端が荒れて、イチゴ舌も伴います。このような症状が落ち着いてきたら、皮膚がかさつき、手足の皮がむけることもあります。合併症としては、肺炎、髄膜炎（脳や脊髄を覆っている膜に炎症が起こること）、敗血症（感染症が重症化した状態）、リウマチ熱^{注1)}、急性糸球体腎炎^{注2)}などがあります。

注1) リウマチ熱

溶連菌の感染で稀に起こる症状で、特に抗生物質（抗菌薬）による治療が不十分な場合におこりやすいとされています。症状としては、関節の炎症による痛みや心臓の炎症、神経への影響として、勝手に体が動く（舞蹈病）などです。関節リウマチとは異なります。

注2) 急性糸球体腎炎

溶連菌の感染で稀に起こる症状で、特に抗生物質（抗菌薬）による治療が不十分な場合におこりやすいとされています。症状としては、おしっこに血が混じる、おしっこにタンパクが出る、おしっこの量が減る、むくみ（浮腫）、高血圧などです。



写真1. 典型的な莓舌



写真2. 猩紅熱での体幹部、顔面の発疹と口囲蒼白

写真1・2: 国立感染症研究所より

とびひ

とびひとは、正式には伝染性膿痂疹（でんせんせいのうかしん）と言います。細菌による皮膚の感染症です。ほとんどがブドウ球菌によるものですが、一部、溶連菌などが原因になります。接触によってうつって、火事の飛び火のようにあっという間に広がるから、たとえて“とびひ”と呼ばれています。あせも、虫刺され、湿疹などをひっかいたり、転んでできた傷に感染してとびひになります。また、鼻の穴の入り口には様々な細菌がくっついているため、こどもで鼻を触るくせがあると、鼻の周囲からとびひが始まったり、その手であせもや虫刺されなどをひっかくことでとびひになってしまいます。溶連菌によるとびひは、赤くはれたところに小さな膿がたまり、かさぶたになるのが特徴です。



感染経路は？

咳・くしゃみ・唾などのしぶきによって感染する飛沫感染とおもちゃなどから感染する接触感染が主な感染経路です。また、汚染された食品から感染する経口感染もあるといわれています。

病気になりはじめの時期（急性期）に一番感染力が強く、その後は徐々に感染力は低下します。急性期の感染率については兄弟での間が最も高く、25%と報告されています。

検査方法は？

のどの粘膜を綿棒でこすり取り、検査します。10分程度で結果が出ます。

消毒方法は？

消毒用エタノールをはじめとして、次亜塩素酸ナトリウム、ポビドンヨード、逆性石けん液（ベンザルコニウム塩化物液）など、市販されているほとんどの消毒剤が有効です。

予防には、手洗い、うがい、マスクなどの咳エチケットが有効です。



治療方法は？

彦根休日急病診療所通信V○1.1で紹介した「かぜには抗生物質（抗菌薬）は効かない？」に書いた通り、「抗生物質（抗菌薬）」は効きませんと言いたいところですが、溶連菌感染症には、抗生物質（抗菌薬）がよく効きます。

ワクチンはなく、治療にはペニシリン系の抗生物質（抗菌薬）が有効です。ただし、ペニシリン系にアレルギーがある場合には違う抗生物質（抗菌薬）も効果がありますので、治療の際は、お医者さんに伝えてください。どの抗生物質（抗菌薬）を使うにしても、少なくとも10日間は確実に飲み切ることが大事です。飲み切れていないと、リウマチ熱や急性糸球体腎炎を起こす可能性が出てきます。

学校は休むの？

学校安全保健法では、溶連菌に感染した場合「適切な抗菌薬による治療開始後 24 時間を経て全身状態が良ければ登校可能」と定められています。溶連菌は抗生剤を服用してから 24 時間経つと感染力がなくなり、1～2 日で症状が治まります。

劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは

原因となる菌はまったく同じですが、まれに、基礎疾患をほとんど持っていないにもかかわらず、組織の壊死や痛み、腫れ、臓器不全などを引き起こし重症化する場合があります。

一般的には、上に書いた通り、軽症で済む場合がほとんどですが、注意が必要です。

(参考)

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（厚生労働省）：

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-17.html>

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎とは（国立感染症研究所）：

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/kansenohanashi/340-group-a-streptococcus-intro.html>

劇症型溶血性レンサ球菌感染症とは（国立感染症研究所）：

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/alphabet/rs-virus/392-encyclopedia/341-stss.html>

こどもに多いのどの病気 溶連菌感染症のおはなし（塩野義製薬）：

<https://wellness.shionogi.co.jp/infections/child/streptococcal.html>

こどもの未来を考える人のための学校保健（公益財団法人 学校保健会）：

<https://www.gakkohoken.jp/special/archives/122>